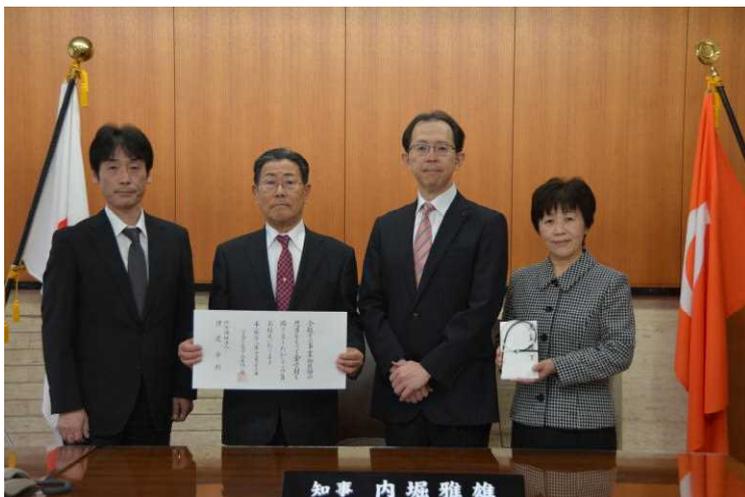


## ～ 社会福祉法人博愛会（会津若松市）が御下賜金を拝受 ～

天皇陛下におかれましては、天皇誕生日に際し、社会福祉事業御奨励のため、事業運営が優良な民間社会福祉施設・団体に対し、金員を御下賜されました。

平成28年度は、本県においては「社会福祉法人博愛会」が拝受し、平成28年12月22日、県庁で内堀雅雄知事から小林欽吉副理事長に伝達されました。



(知事との記念撮影)

「社会福祉法人博愛会」は、昭和52年3月に社会福祉法人の認可を受け、同年4月に乳児保育所博愛園、同6年に特別養護老人ホーム会津みどりホーム、同8年に保育所すくすく園を開所されるなど、約40年にわたり地域の児童福祉、高齢者福祉に尽くされております。

介護福祉士、看護師など資格を有する職員を手厚く配置し、地域の児童福祉及び高齢者福祉の多様なニーズに応えた的確な支援を実践されております。

特別養護老人ホームでは、嘱託医を6医療機関から7名を配し、また利用者の有する能力に応じた機能訓練を行っております。

職員研修が充実しており、特に（公財）社会福祉振興・試験センター主催の特養介護職員合宿研修会（4泊5日）への参加は県内で群を抜いており（県内累計参加者39名のうち6名）、全国の特別養護老人ホームの優秀な介護職員が集まる場での有益な体験や習得した最先端の介護知識・後術が、介護の現場で効果を発揮しております。

特別養護老人ホームにおいて、ケアが効果を上げ、入所時に介護度3の者が、介護度1にまで向上した例が、県指導監査で確認されております。

特別養護老人ホームは阿賀川に隣接するが、近隣の温泉施設（大江戸温泉あいつ）、（社福）会津療育会の障害者支援施設（アガッセ）との災害時における協力連携体制を構築しております。

特別養護老人ホームでは、現在も原発避難者を受入れ、避難者に寄り添った心のケアに取り組まれております。